

地域医療連携室

市民病院地域医療連携室
☎66♦2307



いままでは病気になると、診察から治療までをほぼひとつの病院で行っていましたが、しかし今、医師や看護師、医療機器などの限られた医療資源を地域内に効率良く配置して、医療機関同士が連携をとりながら適切な治療を進めていくように転換が図られています。昨年7月市民病院に設置された地域医療連携室では、積極的にこの地域医療連携を推進しています。

地域医療連携の流れ

地域医療連携室

- 患者本人や家族の負担が取り除けるよう、相談に応じ、適切な医療機関につないでいきます。
- ・医療機関の情報共有、情報提供をします。
 - ・紹介を受けてからの診療予約を取ります。
 - ・退院、通院のための環境を調整します。
 - ・転院の支援をします。



特定機能病院 (地域外) 大学病院

- ・市民病院では行えない、より高度で専門的な治療を行います。



かかりつけ医 地域の医院・クリニック

- ・健康状態の相談を受けたり、診療を行います。
- ・症状によっては適切な医療機関へ紹介します。

市民病院

- ・救急患者を受け入れます。
- ・入院、手術、検査など専門的な治療を行います。
- ・症状によってはより高度な医療機関へ紹介します。

回復期リハビリ・療養型病院

中小病院 ※病床規模にはよらない

- ・退院後の機能回復訓練のためのリハビリを行います。
- ・症状が落ち着いた慢性疾患の長期療養を受け入れます。

自宅 (患者さん)

体のことを気軽に相談できる、かかりつけ医を持ちましょう。

治療の進め方に関する悩みや心配事は連携室に相談ください！

Q かかりつけ医を探しています。自宅の近くにないですか？

A 地域医療連携窓口へ相談ください。場所や診療科など知りたい情報を提供し、患者さんに適したかかりつけ医が見つかるよう相談に応じます。

Q 市民病院ではすぐに退院させられると聞きましたが。

A 市民病院は、発症から比較的短い期間の患者さんの入院、手術、検査を専門的に行います。新たに入院される患者さんのためにベッドを用意することも大事な仕事です。症状が安定した段階で、自宅での療養や回復期リハビリ・療養型病院への転院などについて、患者さんや家族の方と一緒に考えます。

Q 病气やけがあるけど今までどおり自宅で暮らしたい。

A 専門の看護師が患者さんの生活環境の工夫や在宅ケア、介護の情報を提供し、病气や障害を持っていても自宅でいきいきと暮らせるための支援をおこないます。